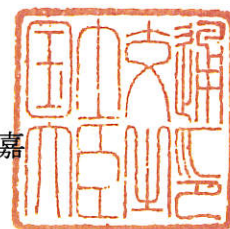


認 定 書

国住参建第 555 号
令和 3 年 8 月 23 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-1176
2. 認定をした構造方法等の名称
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：
寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ208mm以下)
	面積	0.0340m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の 総合計の割合)		63.0%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル 厚さ100mm以上 又は 鉄筋コンクリート造 厚さ75mm以上

3. 主構成材料の仕様：
主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
熱膨張性 シート	材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート	
		寸法	総厚さ：3.18(±0.1)mm以上 幅：70mm以上(埋設部70mm以上)
		使用箇所	配管の外周部に一周以上巻き付け (突き合わせ又はオーバーラップ)
	表面材 (外面側)	材料	①又は② ①ガラス繊維強化アルミニウムテープ ②アルミニウム系テープ
		厚さ	0.18(±0.1)mm以上
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴム
		組成 (質量%)	
		厚さ	3.0mm以上
		密度	
	裏面材 (配管側)	材料	仕様：あり又はなし ①、②又は③ ①ポリオレフィン系フィルム ②ポリ塩化ビニル系フィルム ③ナイロン系フィルム
		厚さ	0.05mm以下
充てん材	材料	セメントモルタル	
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75	
	充てん量	配管と躯体(床)との隙間に密に充てん (床厚方向 75mm以上)	

表3 配管の仕様

項目	仕様				
配管 (給水管・ 排水管)	ポリエチレン管 (JIS K 6761、JIS K 6762、JIS K 6774、ISO 4427、日本水道協会規格：JWWA K 144、建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格：PWA001、PWA005、配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格：PTC K 03、日本ポリエチレンパイプシステム協会規格：JP K 001、JP K 002、JP K 003)	外径	厚さ	φ 125mm 以下	11.4mm以下
	ポリブテン管 (JIS K 6778)			φ 114mm 以下	9.55mm以下
	①、②又は③ ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6747) (記号：VP、HIVP) ②水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742) (記号：VP、HIVP) ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776) (記号：HT) (ただし、JIS に規定する外径及び厚さ以外の管については、規定された要求性能を満足するもの)			φ 165mm 以下	9.6mm以下
	結露防止層付硬質塩化ビニル管 外層：塩化ビニルスキン層 中間層：塩化ビニル発泡層 内層：硬質塩化ビニル層			φ 89mm 以下	10.0mm以下

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
貼り合わせ用 テープ	材料	仕様：あり又はなし ①～⑤の一 ①ポリオレフィン系 ②ポリプロピレン系 ③ポリ塩化ビニル系 ④紙 ⑤アルミニウム系
	寸法	厚さ：0.2mm以下 幅：70mm以下 長さ：100mm以下
	使用箇所	必要に応じて、熱膨張性シートの固定に使用

5. 構造説明図

構造説明図を図1に示す。

単位 mm

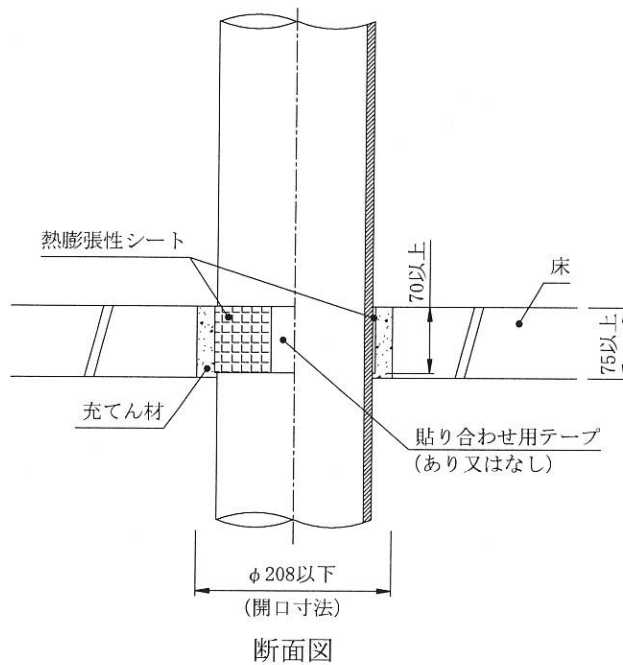
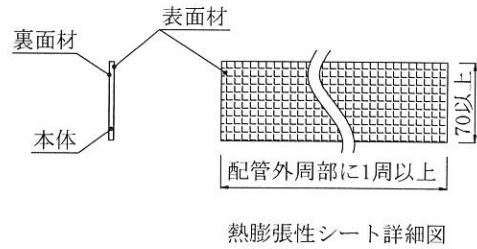
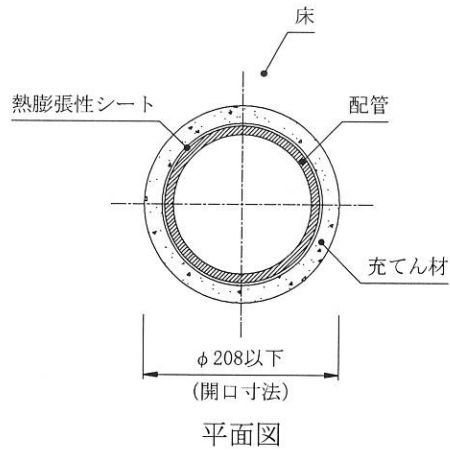


図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定
ボイド管やコアドリル等を用いて貫通孔を設ける。
- (2) 配管の設置
配管を設置して支持・固定する。
- (3) 熱膨張性シートの巻き付け
熱膨張性シートを配管に対して一周以上巻き付け(突き合わせ又はオーバーラップ)、必要に応じて貼り合わせ用テープで熱膨張性シートを固定する。
- (4) 熱膨張性シートの設置
熱膨張性シートを70mm以上埋め戻すようにスライドさせる。
熱膨張性シートの幅が70mmを超える場合は、超えた分が床からはみ出していても良い。
- (5) 充てん材の埋め戻し
配管と躯体の開口部の隙間に、充てん材を密に(床厚方向75mm以上)充てんする。